年 度

浄化槽設置工事写真帳

設置者名:

設置場所:

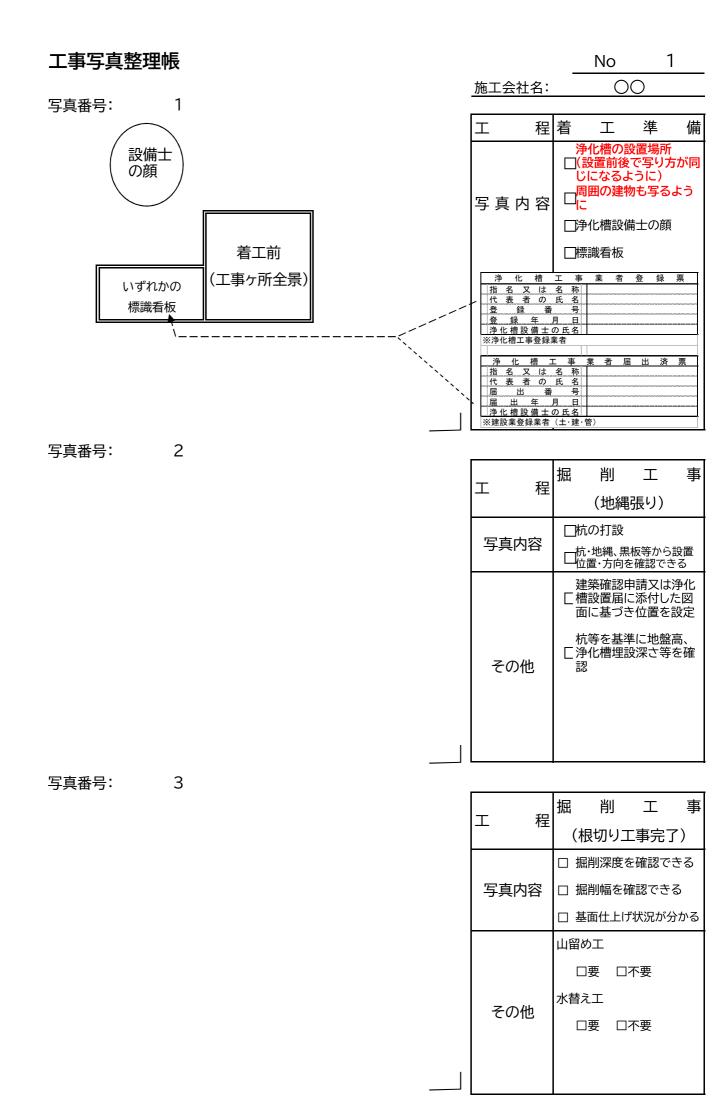
工 期:着手 令和 年 月 日

竣工 令和 年 月 日

施工業者名:

浄化槽設備士名:

別 府 市



工事写真整理	帳				No		2
	•		施工会社名:		0	0	
写真番号:	4			掘	 削	エ	—— 事
			工程	加出	(割栗・		_
					地業の状況		
			写真内容		仕上がり厚だ ・割栗地業1 ・砕石地業1	50 _{mm}	以上
					転圧状況な	バ写って	こいる
				地	下水の有	無	
					□有り→害	栗地業	Ę
			その他		□無し→砕	沿石地業	¥
		ı		参考	国通知にお 後に水平を 行うための トを求めてし	確保し墨 捨てコン	と出しを
写真番号:	5						
			T 10	基	砂		エ
			工程		(底版	配筋)	
			写真内容		配筋の下に ブロック等 る事が読み	を敷い	てい
			子共的谷		スケールで が分かる。 @200mr		
			その他				
写真番号:	6						
			工程	基	(底版]	楚 ンクリート	
					スケールで 示している	· ·縦横寸 o	法を
			写真内容		スケールで 厚が100r ることを示	ジコンク mm以」	上であ
					小石や異物 ている	勿が除去	まされ
					コンクリー なもので (下記を推	あること :奨)	-
			その他		強度 18N スランプ (品質証明 とが望まし	18cm以 を添付	人下 しょうしょう

工事与具整地	里帳	No3
写真番号:	7	施工会社名:
37KM 3		工 程 据 付 二 (浄化槽本体)
		浄化槽に記載した人槽 写真内容 □ 型式・メーカー等が見えるで 向から撮している
		浄化槽に損傷等が生じ
	_	
写真番号:	8	
		工 程 工 程 (浄化槽本体)
		写真内容 □ 水張用ホースが写っている
		□ 流入管・放流管のレベル確
		□ 浄化槽本体の水平確認
		□漏水チェック
		その他
	_	
写真番号:	9	
		T
		□ 本体開口部を塞いでいる
		□ 使用中の水準器
		写真内容 水締め用ホース
		□ 突き固め器具□ スケールで埋め戻し高□ さを確認できる
		石、礫を含まない良質 ⁷ 土砂で埋め戻す

工事写真整理	帳		No 4
	10	施工会社名:	00
写真番号:	10	工程	据付コ
		写真内容	□ 嵩上げの確認に □ スケールをあてている □ スケールで嵩上げが30 cm以内であることを示 している(嵩上げが30 cmを超える場合は、 ピット構造となる。)
写真番号:	11		
		工程	上 部 床 版 コ (型枠·配筋)
			配筋の下にスペーサー ブロック等を敷いている事が読み取れる
		写真内容	スケールで配筋の間隔 □ が分かる。 @200mmを推奨
			□ 開口部補強筋
	1	その他	コンクリート品質は十分 □ なものであること (下記を推奨) 強度 18N/mm2以上 スランプ 18cm以下 (品質証明を添付することが望ましい)
写真番号:	12		
		工程	上部床版二(脱型後)
			□ スケールで縦横寸法を 示している
			□ スケールで厚みを示し ている
		写真内容	

工事写真整理	帳	No 5
它去亚口 •	12	施工会社名:
写真番号:	13	エ 程 電 気 エ 事
		写真内容 専用の防水コンセントも 写っているか
		□ ブロア周辺の状況□ 適正なアース□ 設置場所が適正
		□ 防音・防振の必要性 その他
写真番号:	14	工程竣工写真
		□ 全体の遠景 写真内容 □ 浄化槽設備士の顔
		その他 り、仕上がりの全体確認
写真番号:	15	
		工程
		写 真 内 容

Ī

工事写真整理	建帳(配管)		No 6
		施工会社名:	: 00
写真番号:	16	工 程	流 入 管 (工事着工前)
		写真内容	□ 施工箇所の全景
		その他	※複数枚
写真番号:	17	工程	流 入 管 (工事着工前)
		写真内容	□ 施工箇所の全景
		その他	
写真番号:	18		流入管
		工程	(工事着工前)
		写真内容	□ 施工箇所の全景
		その他	

工事写真整理	理帳(配管)		No 7
		施工会社名:	00
写真番号:	19	工程	流 入 管 (工事着工中)
		写真内容]配管・枡等敷設状況
		その他 ※	※複数枚
写真番号:	20	工程	充 入 管 (工事着工中)
		写真内容]配管・枡等敷設状況
		その他	
写真番号:	21	工程	充 入 管 (工事着工中)
		写真内容] 配管·枡等敷設状況
		その他	

工事写真整理	里帳(配管)	No8
		施工会社名:
写真番号:	22	工 程 流 入 管 (工事完了)
		写真内容 🛘 配管·枡等敷設完了
		その他 ※複数枚
写真番号:	23	
		工 程 流 入 管 (工事完了)
		写真内容 🛘 配管·枡等敷設完了
		その他
写真番号:	24	工 程 流 入 管 (工事完了)
		写真内容 🗆 配管·枡等敷設完了
		その他

工事写真整理	浬帳(配管)	No 9
		施工会社名:
写真番号:	25	工 程 放 流 管 (工事着工前)
		写真内容 □ 施工箇所の全景
		その他
写真番号:	26	_ 放 流 管
		工程(工事着工中)
		写真内容
		その他
写真番号:	27	カ 流 管 エ 程 (工事完了)
		工程(工事完了)
		写真内容
		その他

工程 (着工前) 写真格号: 29	工事写真整理	理帳(既設槽撤去)		No 10
写真内容 □ 施工箇所の全景 その他	写真番号:	28		既設槽撤去
写真番号: 29 T 程 既 設 槽 撤 去 (撤去状況) 写真内容 □ 既設槽の撤去状況が確 その他 工 程 既 設 槽 撤 去 (撤去完了)			写真内容[
工 程 既 設 槽 撤 去 (撤去状況) 写真内容 □ 既設槽の撤去状況が確 その他 工 程 既 設 槽 撤 去 (撤去完了)			その他	
写真番号: 30	写真番号:	29	工 程	
写真番号: 30			写真内容[□ 既設槽の撤去状況が確 認できる
工 程			その他	
写真内容 口 施工箇所の全景(整地後)	写真番号:	30	工 程	
			写真内容[□ 施工箇所の全景(整地 □ 後)
その他			その他	

工事写真整理帳()	_	No
四去亚口 。		施工会社名:	00
写真番号:			
		工程	
		写真内容	
		その他	
写真番号:			
う具 笛勺・			
		工程	
		写真内容	
写真番号:			
		工程	
		写真内容	

浄化槽設置工事写真帳について(解説)

<u> </u>	子具ではこういく			
	前浄8号に定める			「浄化槽設置工事写真帳」運用に当たっての留意事項と標準的な工事作業
写真の種類	審査のポイント	備考	写真番号等	備考
浄化槽設備士が実 地に監督しているこ とを証する写真	浄化槽設備士が 工事を実地に監 督しているか。		1 着工準備	・浄化槽設備士が実地に監督又は施工すること。<浄化槽法29条> 注)浄化槽設備士が現地で業務に当たったことを証明するために、浄化槽設備士の顔、浄化槽工事業者登録票 又は浄化槽工事業者届出済票、周辺状況が写っていること。
			2 地縄張り 3 掘削工事	・浄化槽工事用の図面及び仕様書に基づいて(浄化槽工事を)行うこと<基準> (参考)建築確認申請又は浄化槽設置届に浄化槽の配置図面有り ・根切り工事を行う場合においては、当該根切り工事の深さ並びに地層及び地下水の状況に応じて、あらかじめ、 山留めの設置等地盤の崩壊を防止するために必要な措置を講ずること。<基準>
				・基礎工事は、地盤の状況に応じて、基礎の沈下又は変形が生じないように行うこと。<基準>・基礎の状況等に関する記録を作成すること。<基準>・コンクリートの打ち込みは、打ち上がりが均質で密実となるように行い、かつ、所要の強度になるまで適切に養生すること。<基準>
基礎工事の状況を示す写真	栗石地業及びす てコンクリートを 打っているか		4 割栗·砕石	(割栗地業) 掘削、床付け終了後、浄化槽や基礎コンクリートの荷重を支える地盤を強固にするため、小塊状の砕石を敷き固める。その隙間を埋めるために砂利を敷く。石は地盤に差し込みやすいように尖った方を下にし、ランマ等で転圧する。厚みは一般的には100~150mmである。ここで言う「小塊状の砕石」は、地下水が無い場合には45mm程度の砕石、ある場合には150mm程度の割栗となる。
			5 底版背筋配筋	(底版コンクリート配筋について) コンクリートは、鉄筋を配して引っ張りの力に対して補強する必要がある。また、鉄筋には十分なコンクリート被りがないと腐食の原因となる。 全浄連では、型枠を組み、かぶり厚を確保するためのスペーサーブロック等の上に、10mm異形鉄筋により、鉄筋中心間隔200mmシングルの鉄筋を組み立てることを推奨している。

浄化槽設置工事写真帳について(解説)

<u> </u>				「タル挿孔架工声写声帳」第四にリナップの図字声頂と標準的お工声に響
	新浄8号に定める			「浄化槽設置工事写真帳」運用に当たっての留意事項と標準的な工事作業
写真の種類	審査のポイント	備考	写真番号等	備考
基礎工事の状況を示す写真			6 底版コンクリート打ち	(底版コンクリート:コンクリート打ちについて) 全浄連では、強度18N/mm2以上、スランプ18cm以下となるコンクリートを使用し、100mm以上の厚みに仕上げることを推奨している。
			7 据付工(1) 機種確認	(標準的作業例) 底版コンクリートの上に通り心、浄化槽本体の位置等を墨出し 底版コンクリート上の小石等異物除去 浄化槽の吊り金具にロープをかけて静かに吊りおろす
据付工事の状況を 示す写真			8 据付工(2) 吊り降ろし水張り	・浄化槽に損傷等が生じないように(浄化槽工事を)行うこと。<基準> (標準的作業例) 流入管・放流管のレベル確認 浄化槽本体の水平確認 浄化槽本体の水張り→水平確認→漏水チェック
	つ、水じめ及び突	認しつつ、水じ	9 据付工事(3) 埋め戻し	・浄化槽に損傷等が生じないように(浄化槽工事を)行うこと。<基準>・埋め戻しを行う場合には、浄化槽に異物が入らないように行うとともに、十分な締め固めを行うこと。<基準>・浄化槽の埋め戻しは、浄化槽の水平を確認しつつ行うこと。<基準>(標準的作業例) 土砂流入防止(マンホール覆い、蓋、配管接続ロキャップ) 埋め戻し土チェック(石、礫を含まないこと) 水締めと突き固めを何回かに分けて左右交互に行う 埋め戻しの途中で、水平の確認を何度か行う
かさ上げの状況を 示す写真	バルブの操作な どの維持管理を 容易に行うことが できるか。	スケールをあ てるなどして、 かさ上げ高さ が分かるよう に撮影する。	10 据付工事(4) かさ上げ	配管勾配の都合から、マンホールカラーを用いて20cm以上のマンホール蓋の嵩上げを行うことが多い。 登録浄化槽は、嵩上げが30cm以内であることを前提に保守点検の利便性等を審査されている。 (標準的作業例) 原則として嵩上げは30cm以内とする。30cm以上となる場合はピット構造等の対策により保守点検等の支障がないよう配慮する。

浄化槽設置工事写真帳について(解説)

H1.2.8衛浄8号に定める写真		「浄化槽設置工事写真帳」運用に当たっての留意事項と標準的な工事作業	
写真の種類 審査のポイ		写真番号等	備考
		11 上部床版工(1) 型枠·配筋 12 上部床版工(2) 脱型後	(標準的作業例) 上部床版は原則として、地盤面より3cm以上高くする等雨水の流入防止策を講ずる。 埋め戻しの締め固めを十分に行った後、型枠を組み立て、浄化槽上部の配筋を行う。 配筋は10mm異形鉄筋により、鉄筋中心間隔200mmシングルの鉄筋を組み立て、マンホール開口部には周囲に補強筋を施す。 コンクリートの厚みは80~150mm前後とし十分な鉄筋かぶりを確保する。
		13 ブロア	・電気設備については、接地等が適切に行われ、安全上及び機能上の支障がないことを確認すること。<基準>(標準的作業例) 浄化槽の仕様書に照らして適切な能力を有するブロアであることを確認。 保守点検、浄化槽との位置関係、防雨、防冠水等の観点から適当な設置場所を選定。 浄化槽専用の100V防雨型コンセントを設ける。 アースの必要な機種は適正にアースする。 必要に応じて適切な防音・防震対策を講ずる。
		14 竣工写真	・浄化槽設備士が実地に監督又は施工すること。<浄化槽法29条> ・ポンプ、送風機等の機器が正常に作動することを確認すること。<基準> ・市町村は現場において工事施工を監督することに代えてチェックリストを浄化槽工事業者から提出させる事としても差し支えない。 <h1.2.8衛浄8号> (標準的作業例) 市町村が求めるチェックリストにより工事状況の再確認。 残土の適正処分。浄化槽内外の清掃及び後かたづけ。</h1.2.8衛浄8号>

注)上記において、<基準>とは、「浄化槽工事の技術上の基準及び浄化槽の設置等の届出に関する省令」S60.9.27厚生省・建設省令第1号を指す。

宅内配管及び既設槽撤去にかかる工事写真

写真の種類	審査のポイント	備考	写真番号等	備考
流入管 工事着工前			16~18	トイレ、台所、風呂等の工事予定箇所を周辺状況と共に撮影すること。
流入管 工事着工中			19~21	トイレ、台所、風呂等の工事中の状況がわかるように撮影すること。
流入管 工事完了			22~24	トイレ、台所、風呂等の工事が完了したことがわかるように周辺状況と共に撮影すること。
放流管 工事着工前			25	工事予定箇所を周辺状況と共に撮影すること。
放流管 工事着工中			26	工事中の状況がわかるように撮影すること。
放流管工事完了			27	工事が完了したことがわかるように周辺状況と共に撮影すること。
既設槽撤去			28~30	・撤去前、撤去したことがわかる写真及び撤去後の状況がわかる写真を撮影すること。